

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和8年1月21日（水）

2 確認箇所

車両スクリーニング場北東（図1）

3 確認項目

4号機燃料取扱機搬出に係る表面汚染検査の実施状況

4 確認結果の概要

福島第一原子力発電所1号機では、現在も使用済燃料プールに392体の燃料が保管されている。

東京電力は、これらの燃料を取り出し、より安定した冷却及び保管が可能な共用プールへ搬出する計画としている。

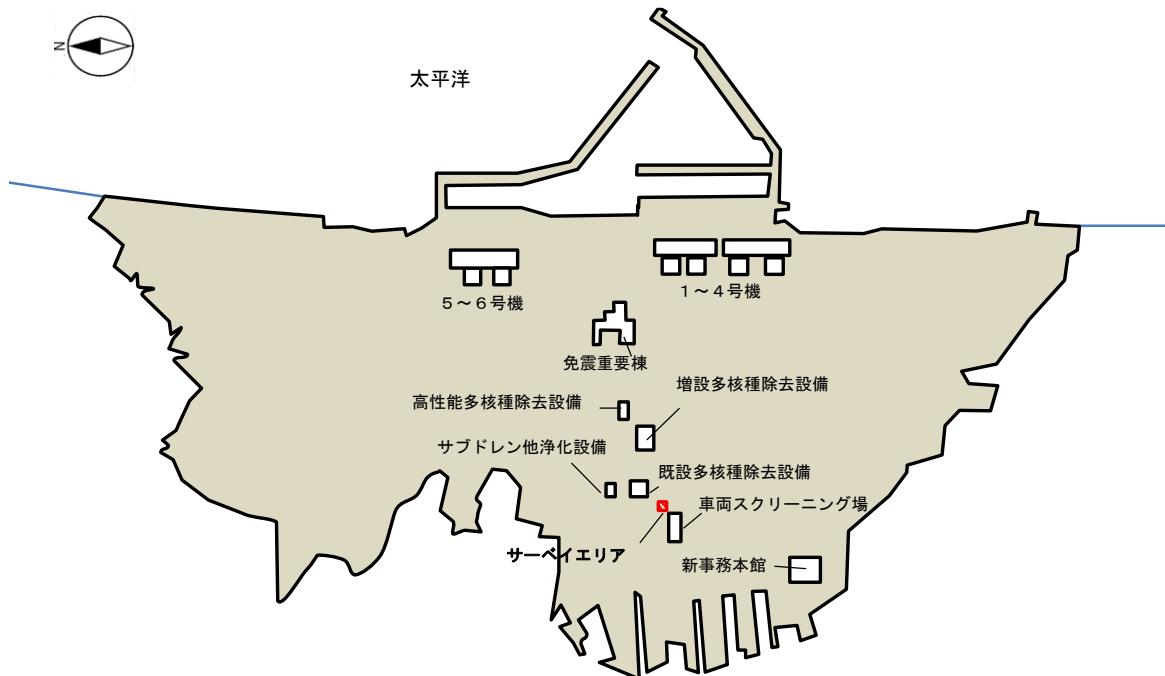
1号機の燃料取り出し作業に使用する燃料取扱機については、廃棄物削減の観点から、4号機で使用していた燃料取扱機を改造して再利用する方針である。

改造作業は福島第一原子力発電所構内ではなく、構外にある機械メーカーの工場で実施されることから、燃料取扱機は複数の部品に分解された後、除染及び搬出が行われている。

本日は、燃料取扱機を福島第一原子力発電所構外へ搬出するにあたり実施されている表面汚染検査について、その実施状況を確認した。

- ・福島第一原子力発電所内に設定された表面汚染検査エリアにおいて、車両の荷台に積載された燃料取扱機を対象に表面汚染検査が実施されていた。（写真1）
- ・燃料取扱機の表面汚染検査に併せて、当該燃料取扱機を積載した車両についても表面汚染検査が実施されていた。（写真2）
- ・車両の荷台上での作業については、墜落制止用器具（フルハーネス型安全帯）を適切に着用したうえで行われていた。
- ・東京電力による表面汚染検査の結果、法令で定める基準値を満足していることが確認された。
- ・東京電力による表面汚染検査とは別に、福島県が所有するGM計数管式サーベイメータを用いて表面汚染検査を実施した結果、測定値はバックグラウンド相当※であり、汚染は確認されなかった。（写真3）

※ バックグラウンド相当：サーベイメータの指示値が、測定対象物にサーベイメータの放射線検出窓を向けていない状態における指示値と同程度であること。



(図 1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真 1－1)
燃料取扱機の表面汚染検査の状況①



(写真 1－2)
燃料取扱機の表面汚染検査の状況②



(写真2)
車両の表面汚染検査の状況



(写真3-1)
県職員による表面汚染検査の状況①



(写真3-2)
県職員による表面汚染検査の状況②

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。